



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 丸文株式会社

コード番号 7537 URL <http://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲村 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 蟹澤 輝彦

TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	103,703	△5.5	593	△39.1	347	△34.4	131	168.8
23年3月期第2四半期	109,792	9.3	974	152.8	530	—	49	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 351百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △299百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.05	—
23年3月期第2四半期	1.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第2四半期	119,652		35,726		27.4	
23年3月期	106,554		35,613		30.7	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 32,771百万円 23年3月期 32,677百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	5.00	—	6.00	円 銭	11.00
24年3月期	—	5.00	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	円 銭	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,500	15.7	3,250	18.0	2,800	26.3	1,200	107.8	45.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	28,051,200 株	23年3月期	28,051,200 株
24年3月期2Q	1,914,847 株	23年3月期	1,914,847 株
24年3月期2Q	26,136,353 株	23年3月期2Q	26,136,530 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)におけるわが国の経済は、東日本大震災に起因するサプライチェーン寸断や原発災害の影響から着実な回復が見られるものの、欧州の財政不安による世界経済の減速懸念や急激な円高の進行など、先行きが不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレットPCの需要が世界的に拡大し、また震災による部品不足の影響を受けた自動車やデジタルカメラ、OA機器の生産も回復が進みました。その一方で、TVの需要が減退し、半導体製造装置の受注も設備投資抑制が広がり減速に転じました。半導体・電子部品市場におきましても、DRAMや液晶パネルの価格下落が一段と進みました。

こうした状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比5.5%減の103,703百万円となりました。営業利益は前年同期比39.1%減の593百万円、経常利益は前年同期比34.4%減の347百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上した結果、前年同期比168.8%増の131百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (デバイス事業)

デバイス事業は、PC向けや通信インフラ向け半導体が増加したものの、TV向け液晶パネルや携帯電話モジュール向け半導体の売上が減少し、また震災の影響で車載向け半導体も需要が減少しました。その結果、売上高は前年同期比5.4%減の91,161百万円、セグメント利益は前年同期比44.7%減の510百万円となりました。

#### (システム事業)

システム事業は、試験計測機器が前年同期並みに推移したものの、航空宇宙機器の人工衛星用部品が減少、科学機器やレーザ機器、医用機器も低調でした。その結果、売上高は前年同期比6.9%減の12,541百万円、セグメント利益は前年同期比0.3%減の88百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は108,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,229百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が6,386百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が10,953百万円、商品及び製品が7,701百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は11,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が264百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、119,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,097百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は78,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,111百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が9,888百万円、短期借入金が2,956百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は5,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円減少いたしました。これは主に社債が24百万円、役員退職慰労引当金が86百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、83,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,985百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は35,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が188百万円減少した一方で、繰延ヘッジ損益が325百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は27.4% (前連結会計年度末は30.7%) となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,330	9,943
受取手形及び売掛金	46,599	57,553
商品及び製品	29,024	36,726
仕掛品	9	23
繰延税金資産	1,228	1,119
その他	2,116	3,183
貸倒引当金	△29	△39
流動資産合計	95,280	108,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,288	4,170
減価償却累計額	△2,690	△2,656
建物及び構築物（純額）	1,598	1,514
機械装置及び運搬具	26	26
減価償却累計額	△21	△20
機械装置及び運搬具（純額）	5	5
工具、器具及び備品	2,317	2,235
減価償却累計額	△1,851	△1,808
工具、器具及び備品（純額）	466	426
土地	2,520	2,516
リース資産	18	26
減価償却累計額	△5	△7
リース資産（純額）	12	19
建設仮勘定	6	20
有形固定資産合計	4,609	4,502
無形固定資産		
のれん	10	9
その他	395	315
無形固定資産合計	405	324
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550	1,286
長期貸付金	6	6
繰延税金資産	1,997	2,247
投資不動産	3,083	3,083
減価償却累計額	△1,966	△1,992
投資不動産（純額）	1,116	1,090
その他	1,587	1,684
投資その他の資産合計	6,259	6,314
固定資産合計	11,274	11,142
資産合計	106,554	119,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,478	42,366
短期借入金	10,660	13,617
1年内返済予定の長期借入金	20,034	20,034
1年内償還予定の社債	48	48
未払法人税等	210	193
賞与引当金	744	774
資産除去債務	39	—
その他	1,443	1,735
流動負債合計	65,660	78,771
固定負債		
社債	70	46
長期借入金	2,606	2,589
退職給付引当金	1,659	1,653
役員退職慰労引当金	564	477
資産除去債務	121	123
その他	257	264
固定負債合計	5,280	5,154
負債合計	70,940	83,925
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	22,849	22,824
自己株式	△1,630	△1,630
株主資本合計	33,787	33,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216	27
繰延ヘッジ損益	△129	195
為替換算調整勘定	△1,196	△1,214
その他の包括利益累計額合計	△1,109	△991
少数株主持分	2,936	2,954
純資産合計	35,613	35,726
負債純資産合計	106,554	119,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	109,792	103,703
売上原価	101,722	95,620
売上総利益	8,070	8,082
販売費及び一般管理費	7,095	7,488
営業利益	974	593
営業外収益		
受取利息	9	4
受取配当金	12	15
持分法による投資利益	50	31
投資不動産賃貸料	84	102
雑収入	127	91
営業外収益合計	284	245
営業外費用		
支払利息	276	261
為替差損	293	67
雑損失	158	162
営業外費用合計	729	491
経常利益	530	347
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	—	78
特別利益合計	—	79
特別損失		
固定資産除売却損	13	34
投資有価証券評価損	161	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	—
その他	—	0
特別損失合計	179	36
税金等調整前四半期純利益	351	390
法人税等	129	128
少数株主損益調整前四半期純利益	221	262
少数株主利益	172	130
四半期純利益	49	131

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	221	262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△164
繰延ヘッジ損益	△198	325
為替換算調整勘定	△326	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△23
その他の包括利益合計	△521	89
四半期包括利益	△299	351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△361	250
少数株主に係る四半期包括利益	61	100

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	351	390
減価償却費	310	252
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	169	29
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13	△86
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△101	△6
受取利息及び受取配当金	△22	△19
支払利息	276	261
為替差損益 (△は益)	422	161
持分法による投資損益 (△は益)	△50	△31
投資不動産賃貸料	△84	△102
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△78
投資有価証券評価損益 (△は益)	161	1
固定資産除売却損益 (△は益)	13	33
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,636	△11,070
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,746	△1,856
仕入債務の増減額 (△は減少)	△103	10,024
その他	933	△549
小計	△5,084	△2,635
利息及び配当金の受取額	39	32
利息の支払額	△284	△263
法人税等の支払額	△276	△279
法人税等の還付額	103	42
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,503	△3,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△530	△340
定期預金の払戻による収入	629	94
有形固定資産の取得による支出	△59	△77
有形固定資産の売却による収入	1	6
無形固定資産の取得による支出	△30	△30
投資有価証券の取得による支出	△57	△23
投資有価証券の売却による収入	—	88
投資不動産の賃貸による収入	85	89
事業譲受による支出	—	△5,777
その他	△67	△113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	△6,084
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	8,105	3,345
短期借入金の返済による支出	△11,272	△339
長期借入れによる収入	123	—
社債の償還による支出	△24	△24
配当金の支払額	△130	△156
少数株主への配当金の支払額	△69	△82
その他	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,268	2,739
現金及び現金同等物に係る換算差額	△504	△186
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,304	△6,634
現金及び現金同等物の期首残高	24,607	16,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,303	9,443

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	96,316	13,476	109,792	109,792	—	109,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	64	70	70	△70	—
計	96,322	13,541	109,863	109,863	△70	109,792
セグメント利益	923	88	1,012	1,012	△37	974

(注) 1. セグメント利益の調整額△37百万円には、セグメント間取引消去△32百万円と各報告セグメントに配分していない費用△4百万円が含まれております。この費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	91,161	12,541	103,703	103,703	—	103,703
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	38	39	39	△39	—
計	91,162	12,580	103,742	103,742	△39	103,703
セグメント利益	510	88	598	598	△4	593

(注) 1. セグメント利益の調整額△4百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。